

# キャリア・パス委員会から

八尾誠、青山秀明、長田哲也

1. 京都大学キャリア・サポート・センター
2. 様々なキャリア・パス
  - 2A. 官公庁研究所
  - 2B. 民間企業
  - 2C. 教職
  - 2D. 科学政策・マスコミ
3. まとめ

# 1. 京都大学キャリアサポートセンター(H19開設) [以下、センター]

1. 場所:工学部8号館1階(中央食堂の上)

Tel:753-2483, Fax:753-2484,

E-mail: shushoku@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: <https://kucp.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

2. センター長:鱸(すずき)さん

3. 文科省プロジェクト

「京都大学若手研究者キャリアパス多様化促進計画」

4. 登録方法

上記URLの「人材データベース」

## 2. 様々なキャリアパス 2A. 官公庁研究所 (例:産総研)

- 公務員試験→パーマナント
- (専門に特化した)ポスドク[比較的パーマナントになり易い]
- (一般的な)ポスドク

公募情報は、

「(物理学)会誌 掲示板」、学会WEBページ(人事)、  
当該研究所のWEBページ など

## 2. 様々なキャリアパス

### 2B. 民間企業

- センターに企業のニーズを調査する職員
- 大学院生の就職斡旋（主にパーマネント・ポスト）専門の会社（例：D・F・S）
- 日本工業会も関心をもっている。

#### D・F・Sからのアドバイス

- ・物理の人は磐石の基礎があるので、（面接の際に）狭い専門のみをアピールしなくてもよい。
- ・理論の人も、perspectiveの能力が高く評価される。

## 2. 様々なキャリアパス 2C. 教職

### 現状と今後の見通し

- 今や、大学も含めて「教育」が社会的な要請。
- 団塊世代の定年退職で、教員補充が緊急の課題。
- 教員の高年齢化問題は、今後20年ぐらい続く。
- 大学新卒のみを採用すると、新たな団塊世代の形成になるので、採用する人の年齢に幅をもたせたい。
- インターンシップも用意されている(半年程度)。

## 教員免許

- 大学院生でも教職課程を受講できる(1年間では無理)
- 修了しても「科目等履修生」(但し、割高)で、教職課程を受講できる(教育実習を含む)。
- 特に、専修免許取得を前提にすれば、採用時期等に特典(京都府の場合)。
- 教職免許がなくても採用される可能性も。
  - (特殊な例として)秋田県では博士課程専用コース。
  - (もう少し一般に)専門性のあるポストとして採用。

## 2. 様々なキャリアパス 2D. 科学政策・マスコミ

- 従来型の政策課題は、人間社会の中の価値観で対応できたが、(例えば)環境問題には大自然が関わっており、文系の人だけでは、危うい状況(例:アメリカの京都議定書離脱の際、理系ブレインが居なかった)。
- 環境政策推進派のリーダー、A.メルケル(ドイツ首相)は元**物理**学者。
- 自然科学には、人間の都合を越えた「不変の真理」があり、その根幹が物理学。
- 一般の人の間違った認識や過剰な心配を取り除くことも重要。

# まとめ

1. **起**: 様々なキャリア・パスがある。  
研究者を目指す人にとっても、セイフティーネットの役割
2. **承**: G-COEでは、キャリア・パスに関わるセミナーを準備。
3. **転**: しかし、就職はあくまでも個人的事象であるので、本人の自覚が重要。
4. **結**: 京都大学キャリア・サポートセンターへの登録方法

URL: <https://kucp.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

「人材データベース」